

エチオピアの日本庭園

在エチオピア日本国大使館

エチオピアの首都アディスアベバの中心部に広大な面積を持つ大統領府の敷地内に日本庭園があります。

1956年に当時のエチオピア皇帝ハイレ・セラシエが、第二次大戦後最初の国賓として訪日した際、視察した日本庭園の美しさに大変感銘を受け、帰国後に当時の皇帝宮殿敷地内に日本庭園の建設を開始しました。

1960年には、上皇上皇皇后両陛下（当時は皇太子同妃両殿下）がエチオピアをご訪問された際に、同日本庭園もご視察されました。その後、皇帝宮殿は大統領府となり、現在も大統領府には日本庭園があり、イベント等で定期的に使用されるなど二国間の友好関係の象徴とも呼べる存在となっています。

2013年、エチオピアのゴンダール大学と学術交流協定を結んでいる徳島大学の教員の方々が同地を訪問した際に大統領府の日本庭園に桜を植樹し、同大学に留学経験のあるアフエワク・ゴンダール大学副学長（当時。現科学・高等教育副大臣、前外務副大臣）が立ち会いました。

また、同日本庭園には茶室もありますが、2014年1月の安倍総理のエチオピア訪問に合わせて、経年劣化のために痛んでいた畳を有志の現地日本大使館員が手作業で修復し、総理の大統領府視察を成功に導いたというエピソードもあります。

今後は、一般開放の可能性も検討されており、エチオピアを訪れた際に立ち寄ることができる場所にすべく、庭園の更なる維持管理や桜の植樹などが検討されています。



Their Majesties the Emperor and Empress of Japan (then Crown Prince and Princess) stayed at the Jubilee Palace and enjoyed walking in Japanese Garden, which His Majesty Emperor Haile Selassie made after his visit to Japan. (1980).

